

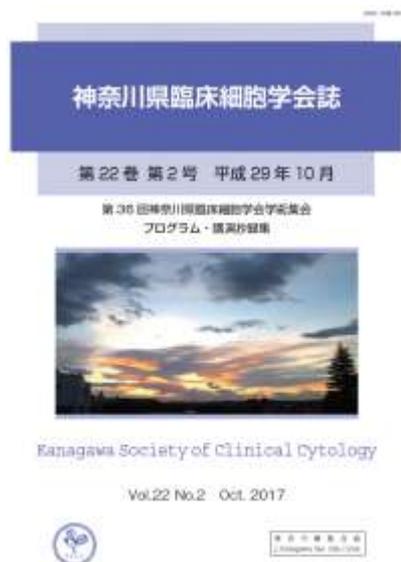
ニュースレター

神奈川県臨床細胞学会
第34号 令和3年7月20日発行

第36回神奈川県臨床細胞学会学術集会を終えて

神奈川県立がんセンター病理診断科 横瀬智之

平成29年10月7日(土)に表題の学術集会が開催されました。実務として細胞診断に携わる、細胞検査士を含む臨床検査技師、婦人科を初めとする臨床医、病理医ら188名が集まりました。前日からの雨も会の始まる昼頃には上がり、主催者は安堵いたしました。



講演は一般演題、スライドカンファレンス、教育講演、教育セミナーからなり、本会開催準備時に設定したテーマは「細胞標本の質向上と応用」でした。来年にも始まる multiplex 検査への細胞検体の応用、その検査のために施設要件となるであろう ISO15189 の解説について活発な討論が行われました。また、特別講演「組織細胞化学的シグナルの適正評価」を組織細胞化学会理事長の小路武彦先生にお願いし、免疫組織化学からエピゲノム組織化学まで幅広くお話を戴き、今後私たちに求められる細胞、組織の適切な取扱い方を伺いました。未来の細胞診断に少なからず寄与する集会となっていれば幸いです。なお、本会は企業による特別講演特別講演「組織細胞化学的シグナルの適正評価」をバンドルし、懇親会を当院内で開催するという、通常と異なる趣向であったため、かなり実験的な集会であったことを最後に申し添えます。

ニュースレターは神奈川県臨床細胞学会 広報委員会が作成しています。